

かな創作のてびき

東北大学学友会書道部
堀江

1. 題材を決めよう

- だいたい**和歌** (五・七・五・七・七)
- 百人一首などから採ってくると良い。
- 好きな歌人を見つけると、創作がより楽しくなるかも。
(私は式子内親王, 俊成卿女, 宮内卿など)
- 今回は式子内親王の
梅枝の花をば他所に憧れて風こそ薫れ春の夕闇
(むめかえのはなをはよそにあくかれてかせこそかをれはるの
ゆふやみ)
を例にする。
- **歴史的仮名遣い**でのふりがなを調べておく。

2. 紙を決めよう

- 題材の文字数に合わせて、紙を決める。
(半切, 全紙, 色紙(大), 色紙(小), 半紙 など)
- 小筆で和歌であれば、色紙(小) (折り紙のサイズ) がベスト。料紙が高ければ色紙で代用しても良い。
- 今回は色紙(小)とする。

3. 変体かなを決めよう

- 変体かなはそれぞれ決まった大きさがある.
- なるべく「大きい文字」と「小さい文字」が混ざるようにする.

(特に「大きい文字」と「大きい文字」の連続は避ける.)

The diagram shows three examples of handwritten katakana variants enclosed in a green dashed border. Each example consists of two characters and a symbol below them. The first example shows a large 'し' (shi) and a small 'し' (shi) with a circle 'o' below. The second example shows a small 'あ' (a) and a large 'あ' (a) with a circle 'o' below. The third example shows a large 'あ' (a) and a large 'あ' (a) with an 'x' below, indicating this combination is to be avoided.

3. 変体かなを決めよう

むめかえのはなをはよそにあくかれてかせこそかをれはるのゆふやみ

2文字程度漢字を入れる

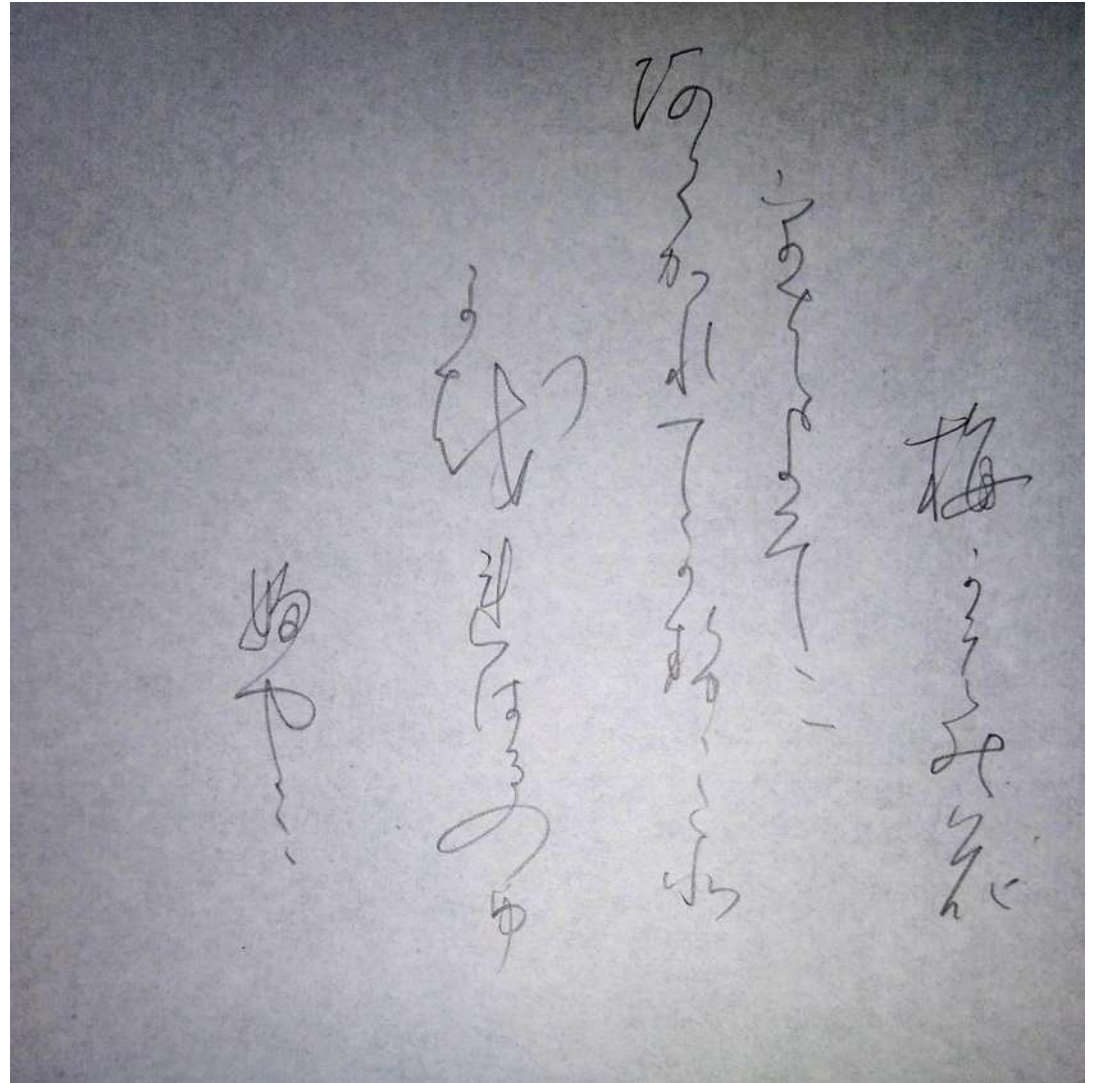
梅かえの花をはよそにあくかれてかせこそかをれはるのゆふやみ

変体かな検索システムに入れる

ゆ	ゆめ	う	うめ	う	梅
ろ	ろ	ろ	ろ	ろ	の
や	は	こ	か	よ	え
い	ろ	ゆ	れ	そ	み
	の	う	て	こ	花

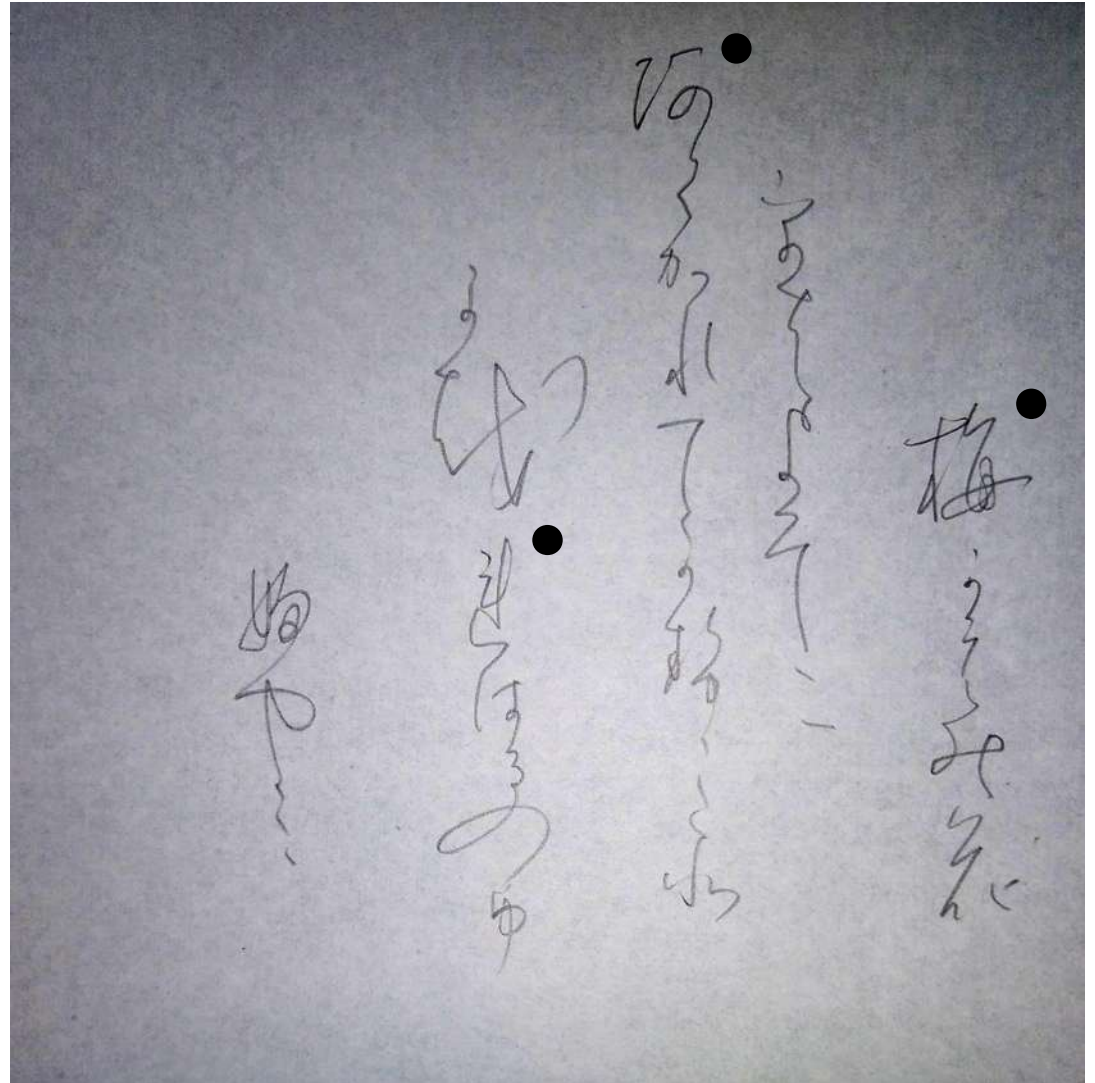
4. 草稿を書こう

- 章法 (文字の配置) は, **枡色紙**を参考にすると良い.
- 五・七・五・七・七の切れ目で行を変える必要はない.
- 行を接近させると緊張感が出て, 行を空けると上品さが出る.
- 文字の大小を大胆に付ける.
- 真ん中には大きめの文字を置いて, アクセントにする.



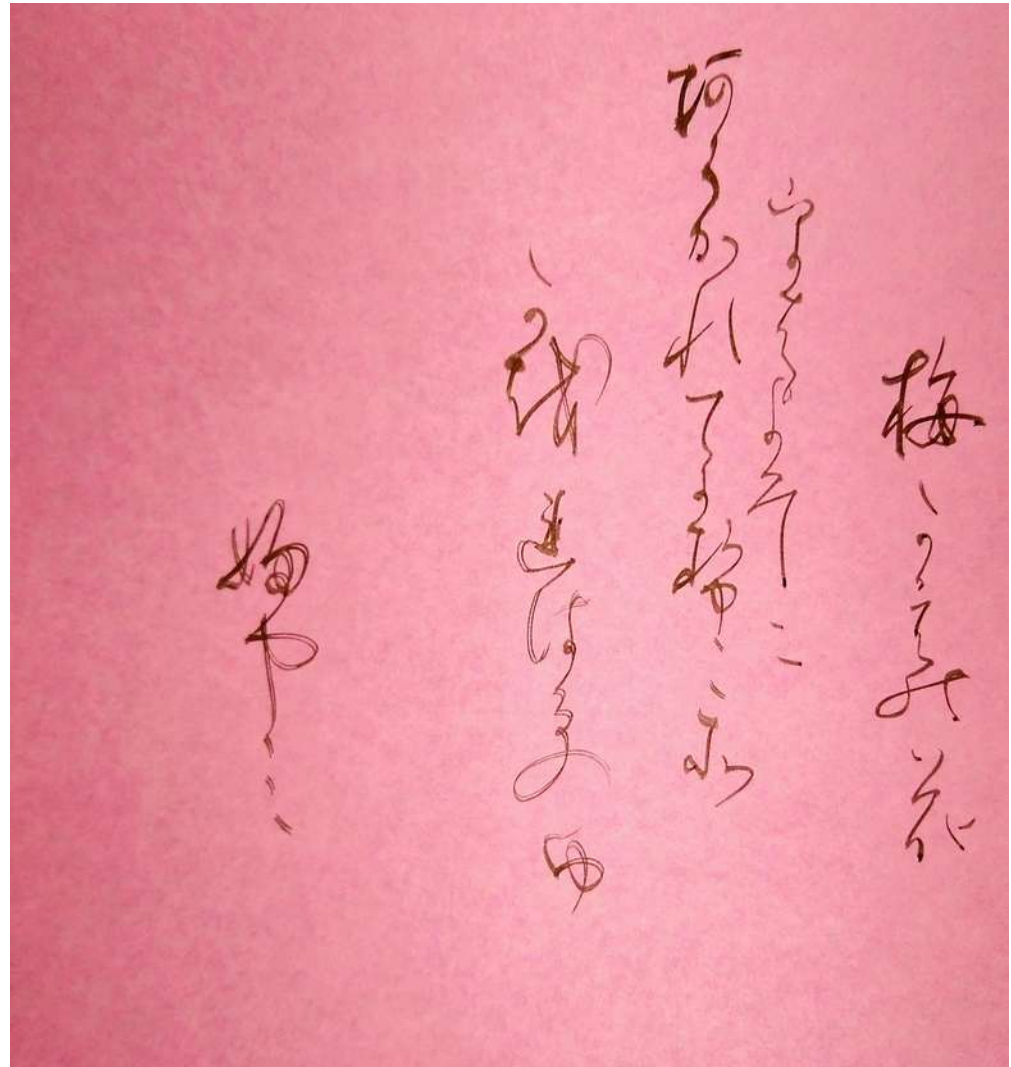
5. 墨つぎの位置を決めよう

- 墨をどこで付けるかを決める.
- かすれる場所を意識してマークする.
- 実際にはかすれる場所
でかすれる保証はない
ので, ティッシュなどで墨
をとり, 無理やりかすれ
させる.



6. 実際に書いてみよう

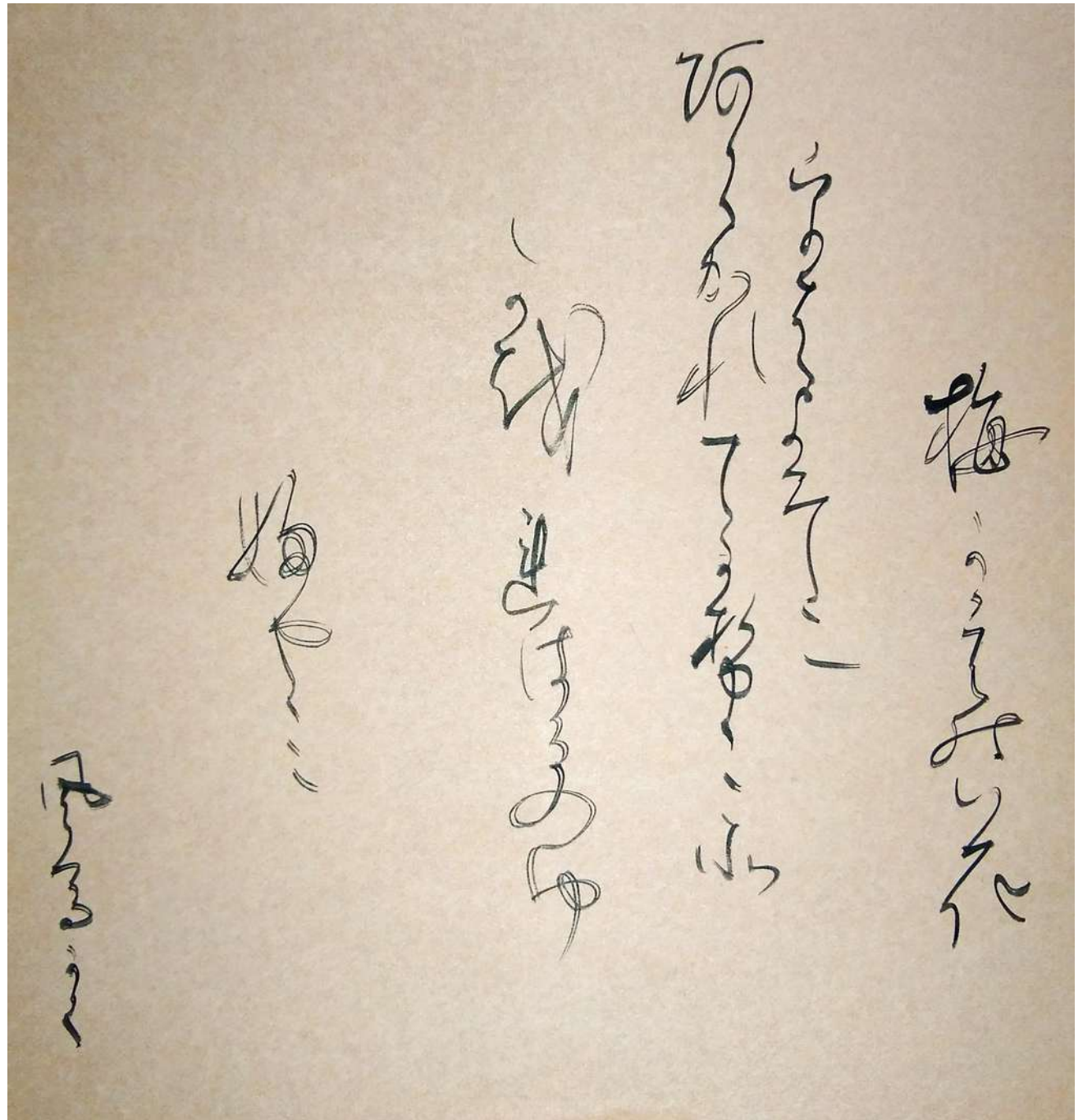
- 色付きの紙に書くと映える.
- とりあえず書いてみて, 修正を重ねていく.
- 慣れないうちは, 線を細く意識しないと, かならしさが出ないかも.
- 行の傾きと墨の加減が気に入らないので, 修正.



7. 完成

- 最後は自分の名前を書いて完成!!

(〇〇かく)



より高いレベルを目指して

- 古典を参考に書くと, 本格的になる.
(前の作品は小島切あたりを参考にした.)
- 行の間隔, 文字の間隔, 行の傾き, 連綿などを考える.
- 現代のかな書家を参考にしてみる.
 - 高木聖鶴, 小山やす子, 森田竹華, 井茂圭洞, 黒田賢一など